

H27～28. 国債

(医病)基幹・環境整備(支障建物撤去等)

■ 附属病院再開発事業の概要

計画期	施設区分	年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
第Ⅰ期	病棟・診療棟				I 期								
第Ⅱ期	外来・診療棟							Ⅱ 期			▼平成27年5月開院		
第Ⅲ期	基幹・環境整備					エネルギーセンター					解体	外構	



平成28年6月撮影



工 期

平成27年9月30日 ～

平成29年1月31日

工事内容

- ・病院再開発計画Ⅲ期の
基幹・環境整備として、旧病院
院の取り壊し工事、及び取り
壊しに伴う電源、通信線、給
排水、ガス管等の支障 迂回
工事を行う

＊効果＊

旧病院の取り壊しによって、本学の耐震対策は完了した。

H28～H29. 国債 (医病)基幹・環境整備(屋外環境整備)

■ 附属病院再開発事業の概要

本事業は、病院再開発第Ⅲ期計画である基幹・環境整備であり、
旧病院(附属病院本館)の解体跡地に駐車場等外構整備を行う



工 期

平成28年11月30日

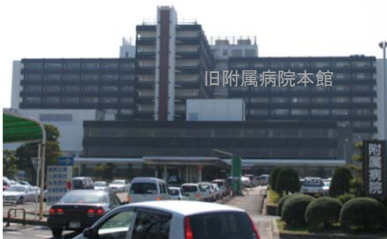
～ 平成29年12月1日

工事内容

- ・入構ゲートを増やし渋滞の緩和確保・駐車車両と送迎車両動線の分離、歩行者と自転車・バイク動線の分離を徹底し、利便性・安全性を確保

問題点

計画期	施設区分	年度	H19年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
第Ⅰ期	病棟・診療棟						
第Ⅱ期	外来・診療棟				▼平成27年5月開院		
第Ⅲ期	基幹・環境整備				解体	外構	



旧附属病院本館

- 附属病院利用者の車両による渋滞が大学前の国道23号線まで続く状況が状態化しており、構内環境の安全確保に支障

- 歩行者と自転車、バイクの動線が同じであるため接触事故の危険がある



乗降場付近の渋滞



- 構内での渋滞の常態化による見通しの悪化で安全面に支障

※効果※ 本事業を実施することにより構内動線が改善され、附属病院利用者のスムーズな入構を促すことでサービス向上につなげる。また、本学構内のみならず大学前国道まで続く渋滞を大幅に緩和し、歩道と車道の交錯もできる限りなくすことで安全な構内環境を整えることができる。
なお、これにより**本学の附属病院再開発事業はすべて完了する。**